



介護体験を

聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第179号

平成29年1月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-2333-0061

*定例会は最終土曜日です。

本年1月は1月28日です。

電

柳田ケアマネ・・・数ヶ月間デイサービスで過ごされて特養の方に要介護4だったので、お入りになられた方です。一人暮らし。お迎えに行くこと結構大変だったのですよね。

ご家族の方との連携・ヘルパーさんとの連携が厳しく、最初は自分で食べることが出来なかったが、数カ月で、お食事も自分で食べられて、手引き歩行で歩けるくらいになった。

糖尿病なので、インシュリンは、デイサービスで見守りに打つてもらっていましたが、低血糖も高かったり、低かったり。その後少しずつ生活が安定してきて、インシュリンを打たない日もありました。

そういう中で、ショートステイを使いながら、訪問看護を使いながら、頑張つて過ごしてました。ご家族が近所には住んでいただけでも息子さん家族が両方働いていたので、この近くの特養に偶然申し込んでいたら入ることができて、今お元気に過ごされていらつしやると思っています。

3月 グループホーム入居で落ち着きが出てきた93才女性

柳田ケアマネ・・・グループホームに入居されて、1年くらいで病気が見つかったグループホームを出られてデイケアを利用している方の事例です。

板井さんは、この方の関わりは半分くらいですよね？

板井・・・一時体調を崩して、入院されていることもありました。グループホームに戻られると普段と変わりがなく、前と同じように生活されています。今現在はデイケアに通われているのですが、にこやかに過ごされていたりしているのを見てよかったです。

4月 デイケア利用で笑顔が増えた92才の女性。介護者は60代の息子さん

柳田ケアマネ・・・要介護5から要介護3になつた方です。もう6、7年来ていましたか？

杉山・・・そうですね。柳田ケアマネ・・・この方も介護者が60代の息子さん一人なので、息子さんの方は排泄介護もす

- 「議題」
- ①一年を振り返りかえって
 - ②デイケア・デイサービス家族相談
 - ③2017年計画について

第180回 介護体験を聞く会 平成28年12月17日(土)に開催

出席者(職員)・・・院長、柳田ケアマネ、飯田、柏倉、杉山、佐和田、厚川、前田、吉田、今村、板井、出席者(家族)・・・藤田さん、野々目さん、柳澤さん、小幡さん、多田さん

①一年を振り返りかえって 柳田ケアマネ・・・皆様こんにちは。師走の忙しい中をご参加して頂いてありがとうございます。今日はですね。特別なテーマというところですが、今まで事例(一人のモデル)

ル)デイケア・デイサービス・グループホームの方の事例をもとに検討していましたが、今回は1年の振り返りというところで、今年も大きく介護保険制度が変わったことありましたが、大きな変更が見られていきますので振り返りかえをやっていきます。

1月 デイケア利用の91才の女性を介護する50代の会社員の息子同居のケース。自分は母を特養とかに入れるってことは後ろめたさがある気がしますが、これで良いんですよね？という感じだったように記憶しています。その後デイケアでは、この方の家族を含めたご本人さんの少し変化がみられました。杉山・・・そうですね。ご本人さんのご自宅での

生活は相変わらず続いていらつしやる。ご利用も定期的に行われていきます。ショートステイも行きたくありませんが、ケアマネ・ジャーンさんがショートステイ先を変更してみたり、周りの方も私たちを含めてお泊りしてそんなに悪いことばかりではないです。お話をさせていたいただきつつ、在宅の方で過ごしていらつしやっています。ちよつと一人になる時間が長いので、心配がある。息子さんも本人も心配になる時間はあるようですが、概ねすごく困ったことなく過ごされているのかなと思います。

2月 腰椎圧迫骨折での入院後、歩くことが出来なくなり認知症も進み独居生活が難しくなった84才女性

3月 グループホーム入居で落ち着きが出てきた93才女性

柳田ケアマネ・・・グループホームに入居されて、1年くらいで病気が見つかったグループホームを出られてデイケアを利用している方の事例です。板井さんは、この方の関わりは半分くらいですよね？



べてして、お母さんを送り出して下さる。仕事も60を機に退職されて、ご自宅で

みられていて、何回も骨折するのですが、必ず回復をして、帰って来られて、ただ、だんだん歩くのが難しくなったりされてはいますが、今はデイケアではどうですか？杉山・・・今もやはり大腿骨の骨折された後、去年の5月くらいからは本当に退院後は車椅子になつてしまつた。リハビリの時は立てるときは平行棒内を歩いてもらつたり、出来る限り3人で介助しながら歩いてもらつたりとかしています。認知症がかなり深くなつていて、「〜にしてみましよう。」の声掛けには答えていただく事は出来ませんが、私たちに笑顔で返して下さる方です。10ヶ月前からは階段を昇りそうな仕草をされたので、お風呂に入るのうちに2階にありますが、階段で昇っていくのですが、階段で

いす。フロアーでは、基本的な車椅子で座つて頂いています。息子さんは、ご自宅では大変ですが、根気強くショートステイを使いながら介護をされています。

5月 デイサービス利用で腸閉塞を毎年繰り返している82歳婦人

柏倉ケアマネ・・・ショートステイとデイサービス

と福祉用具を利用して、今年は大丈夫かな？とずつと来たのですが、特に大きな問題も無く、そしたら先日、本人が好きなものだったからたくさん食べ過ぎてしまったかも知れないというところ、ご家族が仰つていましたけれど、腸閉塞で入院になりました。

昨日お会いしましたが、お元気で、食事も今日から食べられるみたいだから本人が仰るので、本当かな？認知がある方なので、ご家族に確認したら、

本人が分かっていたので、すかと嬉しそうにされて、すぐに忘れてしまふけれど分かつていて、本人も嬉しかったではないですか？今日から食べられることをご家族喜んでいました。報告しましたら、大きな問題なく、今回は腸閉塞で入院している状態です。

6月 退職後に2階での独居生活になつた77才

杉山・・・今も2階に住んでいらつしやつて、生活動作は変化無く、維持できています。

特に認知症があるのではなく、泌尿器系の疾患をお持ちで、そのところだけがまだご自身の中であまり問題ないなと思われていたようですが、週1回ではあります。ほとんどお休みされることなく通われています。冬場なので、電化製品を使うのが本人さん怖いらしくて、全く暖をとらずに寒い2階の木造のアパートに住んでいるので、そこで体調を崩さずにご過ごしていただければと思います。お正

月になれば娘さんやお孫さんが会いに来たりするみたいなので、心配なく過ごしていただけるのではないかと思います。

7月 6ヶ月前にグループホーム入居した喘息を抱える85歳女性

柳田ケアマネ・・・去年の12月に入られた方。

去年の冬、12月に入つた直後喘息で痰を出していた。ティッシュでは間に合わないのを、タオル一枚くらいを置いていた。皆が食べる前でも痰を吐いてしまうので、食欲も減退してしまつたので、別の席に座つてやつていた。席に座つてやつていた。今年のは去年よりもなごとはなくなつていますか？板井さん・・・そうです。ね。何回かはありますが、ティッシュを使つて、出すことはある。その他に口が悪かったり、入居当初はありましたが、今現在そういうこともなく落ち着かれています。現在は協力的で、お手伝いをして下さつたり、周りの他の利用者さんに優しく接することができて、今現在はとても穏やかでム

ドマイカーになつています。院長・・・ももとはご主人が建築の仕事をしていたので、口がね。男の人を扱うような表現をするのでね。最初はびっくりする方もいるかもしれないけれど、今は体調もよくなつたのか、まるで職員のサブみたいでやつているよね。

8月 妻が認知症介護にストレスを感じながら頑張つてみる。

柳田ケアマネ・・・この方は

前田・・・この方自身はお変わりありませんが、奥様がこの会のちよつと前くらいにグループホームのショートステイを利用したいとのこと、奥様のストレス発散・休養がとれた。ストレスを感じられたときの選択肢として今後なつていければと思います。それ以降奥様は、気軽に話されるようになりまし

た。ストレスを感じられることはあまり最近はないのかと思います。

柳田ケアマネ・・・「本人は二度と行かねえ！」と言って、何年もデイサービスだけでしたが、朝一番のトイレに1時間かかるのとこのことで、あれは解消されたのか？1時間こもってではないと排便がでないとか。

前田・・・それは解消されていません。デイサービスでは、1時間もかかることはないですが、長くて20分くらいです。ね。便だなとすぐ分かる。院長・・・大便の時は20分かかかるの？小便の時

は？
前田・・・すぐですね。
柳田ケアマネ・・・ショートの導入も野々目さんのところもそうでしたが、二箇所くらい失敗しましたよね？三回目はかなり情報をいっぱいショートステイ先に私も送って、この方はこういう気性がありますので、こうしてほしいとか、向こうとしては好き嫌いがあるなら家から少し持ってきてくれなどと情報のやりとり



して、ショートステイを使うことで、全然苦なく利用できる。情報の共有はすごく大切だと思います。

9月 数年間在宅で妻が介護していたが、やっとデイケア利用が週1回可能になった84才の男性柏倉ケアマネ・・・お付き合いは7、8年になります。レビー小体型認知症と診断されて、当時は寝たきりで全く歩くことが出来ない方でしたが、「黒い服を着ている人がそこに居る。ここはお前の家ではない。出てけ！」と言っていた。私が居るときも「ほら、そこに居るよ」って言うような感じの方でした。抗精神薬とかそつちのほうの薬を飲んでいたので、何がされたのかわからないのですが、レビー小体って、子どもたちがぞろぞろしているとか虫がぞろぞろという。その後、整骨院に行つて、どういふ状況か、少しは楽になれるので、根がまめな方なので、

毎日通院されるようになった、少しずつ杖で歩けるように状態になった。ご近所のデイサービスを紹介しましたらニコニコニコニコニコしながら説明を受けてこれはいまよくいくのかな？と思いきやデイサービスから戻ってきてから「絶対にあそこには行かないから。」と言われた。柳田のデイケアで足の運動とかね。リハビリとかやってみましょうかと紹介したら見には行くとお二人で来られて、そしてたらすっかり気に入ってもらつて本当に何がフィットしたかはわかりませんが、また、今度いつ来るの？と。

杉山・・・そうですね。ある方とすごく信頼関係が結ばれています。柏倉・・・「やっぱりよかつたんだなとここで」と私は改めて思いました。本当にここまで来るまで、奥様も一生懸命いろんなことを体験して、今すぐ感謝しています。ゆっくり眼科に行ける。新川橋は長いので、火曜日は調度眼科通院の日なのでゆっくり行けることを喜んでいきます。柳田ケアマネ・・・まだ来られて半年？柏倉・・・7月か8月、それくらいです。柳田ケアマネ・・・柏倉さんが担当してから7、8年ベッドだけレンタルしてました。柏倉・・・機会あることにお話してきたんですけど、ただ私はあまり顔を出していかないのに、あなたはよく来てくれた人と「えっ！」と思うようなこともありました。昔の記憶はそこでパツと頭にあるのかな？と

10月 第14回敬老文化祭・・・認知症対応力向上を家族とともに目指す文化祭
柳田ケアマネ・・・10月は、文化祭をしまして、183名の方が来所して下さいました。認知症対応力向上を家族とともに目指す文化祭とのことで、認知症の講演を午前・午後2回ずつ土日やりまして、そこに参加された親子がここなら近いのできてみようかなと思ひ、12月からデイケア利用開始となりました。あまり違和感なく、本人もいやだということもなく、来てくださっているの、嬉しいなと思ひます。こども娘さん夫婦が正社員で働いていらつしやいますので、日中その方がお一人で過ごしていらつしやいますので、心配ということ、週に一回。まだ介護度が出ていないため、要支援1しかでていないので、区分変更かけていますが、要介護が出ればもう少しと思ひますが、ご家族とご本人の意向を聞きながら回数を決めて行きたいと思ひます。

11月 認知症の周辺症状が沢山見られ、夫が一人で介護している79才女性

飯田ケアマネ・・平成23年頃からちよつと認知症のような症状が現れたとのことで、ご主人の方が高月9日に申請をして、その間5年間くらいご主人一人で見ているのですね。それでデイサービスの方を見学して、見学した時には、立ち上がって皆さんと体操したりとか皆さんと席に座って一緒に歌を歌ったりとかして、すぐに馴染めたようでもともと社交的な方でしたので、皆さんとは打ち解けたようです。やはり最初の時に食事が摂れなくなってしまうこともありました、その後には変わりましたが、週4回デイサービスに通われていて、様子を見ながらショートステイとか、この方介護1ですが、どう見ても介護1ではないのという印象なので、来年の更新時には、3くらいですのではないかと思えますので、特養の申請をして

行ったほうがいいよねとご主人と今相談しているところですよ。デイサービスも行くので、それだけでもいいかなとご主人は仰っています。

柳田ケアマネ・・最初は、ある程度興奮状態であつた歌をずっと午前中歌われていたりして、あれど今はそういうことは全くないですよ？

吉田・・歌は歌いたい。皆さんとやはり話をしたりとか、周りの雰囲気を読めるようになってきた。分かってくださって、あとで歌おうというとか

柳田ケアマネ・・休まず来てくださっています、この方はご自宅でお風呂に入られているので、デイサービスでは入られていませんが、一人で父さん連れてくるぐるぐる徘徊というか散歩に行こうと言つて1時間くらい出されてしまうと家事作業が出来なくなつてしまつたりするので困つていらつしやうつた。

飯田・・そうですね。初めて徘徊した時は、競馬場のところまで行って

しまつて、旭町のどなたか親切な方がその時携帯をもつていたらしくて、ご本人、携帯にかけて、ご主人が中瀬から旭町の競馬場のところまで迎えに来てくださつて、それで帰つていったことがあつて、デイサービスに行くようになってからは、そういうことはなくなりまして、やはりデイサービスがお休みのときに1時間くらいになるとそわそわして、「歩かせろ！」という感じで、ご主人が仕方なく歩かせているとのこと、ちゃんと後ろについて歩いているというので、とりあえずは、SOSの登録はしていませんが、様子を見て行っていければと思います。

12月 1年間の振り返りと介護事業所介護保険制度の変遷

柳田ケアマネ・・1年間色々事例をする中で、ご家族との協力・情報共有・連絡・伝達いかに大切なのかわかつた1年間でした。

院長・・来年の4月には、福祉研究棟「三々五々

館」旭町音楽ホール開設予定。

(佐和田)

柳田デイケア

新年の抱負

新春は応援力を向上させて：

昨年の新年の抱負では「お・も・い・や・り」のデイケアを皆さんで作るデイケアを目指しました。1年を振り返ると、利用者の方々の皆様の「思いやり」や「心配り」、そして「優しさ」を沢山感じる事が出来ました。それは極めて小さな事柄ではあるかもしれませんが、「あの人がこんな風に困っているみたいだから、〇〇してあげたいかいよ」という類の心遣いが多くあり、我々若輩者には思い及ばない事柄だと感じております。今年はその皆さんの心遣いを私たち自らが気づけるよう、また、私たちが日々実践している「利用者さんにとって難しい部分の介助」を注意深く見守り、出来る限りご自身

の力で出来るような「見守り力」、「応援力」を身に着け、今までのようにご自宅での生活を継続できるように「手を出し過ぎない介助」を心がけて参りたいと思つております。

「日常生活動作」は「日常生活動作」を実際に行わない限りその動作を自らが獲得することは困難である。と言われており、リハビリ訓練でのストレッチや筋力トレーニングに加え、自ら行う動作を私たち介助者が見守れる環境にデイケア室にて存分に動作を行つていただきたいと思つております。まだまだ環境面が行き届かない所もあるかと思つていますが、諸先輩方のアドバイスを受けながら実践して参りたいと思つております。

デイケア室 杉山 民

